

2.活動結果報告

■平成24年度 阿蘇草原再生の取り組み状況

阿蘇草原再生協議会では、各構成員が取り組む草原再生に向けた活動・事業がより効果的に進められるよう、「活動計画案」及び「活動結果報告」の提出を求め、テーマ別の各小委員会と協議会において助言や調整、評価等を行う仕組みをつくっています。

平成 23～24 年度に開催された協議会(第 14 回～第 16 回)に提出され、全体構想に従って承認された「活動計画」のうち、平成 25 年 5 月までに活動を終了した 45 件（詳細版 39 件、簡易版 6 件）※についての「活動結果報告」を受け、各小委員会や協議会で成果が確認されました。また、その中から 19 件が奨励賞を受賞しました。

これら 45 件の活動結果報告を、全体構想の「取り組みの視点」の項目別に、8 ページ以降に紹介します。

※「活動結果報告」の詳細版および簡易版については 7 ページ下部に記載しています。

◇平成 24 年度 活動結果報告一覧

NO	実施主体 (提出者)	事業・活動名	関連小委員会					実施時期	提出様式	
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源	草原観 光利用		詳細 版	簡易 版
1	木落牧野組合	原野(やま)の恵み、先人の知恵を 木落原野の未来へ(H24 年度)	◎	○	○	○		H24.4.1～ H25.3.31	●	
2	農事組合法人黒川牧野組合	中央火口丘周辺における放牧・採草利用と維持管理活動	◎	○		○	○	H24.4～ H24.12	●	
3	小堀牧野組合	小堀牧野における牧野利用と維持管理活動	◎	○	○			H24.4～ H25.3	●	
4	二塚牧野組合	あか牛繁殖牛の放牧による牧野の有効利用と草原環境の再生に向けた活動	◎	○				H24.4～ H25.3	●	
5	古閑牧野組合	古閑牧野の維持管理と地域の交流会	◎	○	○			H24.4～ H25.3	●	
6	長野牧野組合	野草地の維持管理による牧野の有効利用	◎	○				H24.7～ H24.8	●	
7	(公財)阿蘇グリーンストック	2012 年度秋の輪地切り支援ボランティア活動	◎	○				H24.9.2～ H24.12.14	●	
8	(公財)阿蘇グリーンストック	2012 年度野焼き及び輪地切り支援ボランティア活動	◎	○				H25.2.10～ H25.4.14	●	
9	環境省九州地方環境事務所	牧野組合毎の牧野カルテ作成支援	◎	○		○		H24.8～ H25.2	●	
10	環境省九州地方環境事務所	野草地の利用を支援する作業道整備、天地返し事業	◎	○		○		H24.8～ H25.3	●	
11	環境省九州地方環境事務所	輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業	◎	○				H24.10～ H25.3	●	
12	阿蘇市	草千里ヶ浜池環境調査	◎				○	H24.6.29～ H25.3.28	●	
13	西原牧野組合(井 廣明)	未利用原野における放牧・採草利用の取り組み	◎	○		○		H24.4～ H25.3	●	
14	下荻の草牧野組合	下荻の草牧野の維持管理と春の生き物観察会	◎	○	○			H24.4～ H25.3	●	
15	高森町役場	平成 24 年度高森町農林業振興事業(草地畜産対策事業)	◎					H25.2.17～ H25.4.4	●	
16	扇牧野組合(南小国町)	野焼き及び輪地切り、輪地焼き	◎	○				H25.3.9, 12		●
17	波居原牧野組合(南小国町)	波居原牧野 野焼き・輪地切り、輪地焼きの実施	◎	○				H24.3～ H24.9		●

NO	実施主体 (提出者)	事業・活動名	関連小委員会					実施時期	提出様式	
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源	草原観 光利用		詳細 版	簡易 版
18	瀬田立野牧野農業協同組合(南阿蘇村)	野焼きや牧柵点検による放牧利用の継続と景観づくり	◎	○			○	H24.3~ H24.12		●
19	阿蘇地域農業振興協議会畜産部会	あか牛の流通・消費拡大の取り組み 阿蘇あか牛肉料理認定店制度	◎					H24.4.1~ H25.3.31		●
20	熊本県企画振興部地域・文化振興局地域振興課	1. 阿蘇草原維持再生事業 2. 新しい公共支援事業	◎	○	◎	○	○	H24.6.14~ H25.3.31		●
21	NPO 法人 阿蘇花野協会	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人工林伐採による生物多様性豊かな草原の再生～	○	◎	○			H24.4.1~ H25.3.31	●	
22	宇野公子(花咲盛)	花咲盛における生物多様性保全活動		◎	○			H24.4.1~ H25.3.31	●	
23	寺崎昭典(寺崎動植物研究所)	阿蘇地域の希少種(昆虫類)生息調査		◎	○			H24.5.4~ H25.3.20	●	
24	(公財)阿蘇グリーンストック	阿蘇草原湿地保全・再生事業		◎				H24.6.28~ H25.3.25	●	
25	国立阿蘇青少年交流の家	阿蘇の草原キッズになろう!「秋編」「野焼き編」			◎★			H24.10 H25.2, 3	●	
26	国立阿蘇青少年交流の家・阿蘇草原再生協議会 草原環境学習小委員会	教職員を対象とした草原環境学習ワークショップの開催 ☆阿蘇草原キッズ・プロジェクト			◎★			H24.8.8	●	
27	九州地方環境事務所阿蘇自然環境事務所、阿蘇草原再生協議会草原環境学習小委員会	モデル校における草原環境学習プログラムの実践と基本プログラムの検討			◎★			H24.5	●	
28	環境省九州地方環境事務所阿蘇自然環境事務所	出前講座:阿蘇の草原を未来へつなごう			◎★			H24.4~ H25.3	●	
29	九州地方環境事務所	阿蘇草原再生に関する情報発信資料の作成			◎★			H24.8~ H25.3	●	
30	町古閑牧野組合	草原の宝を守り 新たな宝を見つけよう			◎★	○	○	H24.4~ H25.3	●	
31	(公財)阿蘇グリーンストック	草原環境学習 輪地切り・野焼きから草原について学ぼう			◎★		○	H24.4~ H25.3	●	
32	(公財)阿蘇グリーンストック	阿蘇の自然と文化の体験活動			◎		○	H24.4~ H25.3	●	
33	(財)阿蘇火山博物館	阿蘇の火山体験学習			◎		○	H24.4.1~ H24.11.30	●	
34	(財)休暇村協会休暇村南阿蘇	南阿蘇ビジターセンターしぜんふれあい活動			◎		○	H24.4~ H25.3	●	
35	一般社団法人アイ・オー・イー	阿蘇の火山学習			◎		○	H24.4.1~ H25.3.31	●	
36	阿蘇ガイド養成講座実行委員会	阿蘇ジオパークガイド養成講座			◎		◎	H24.9.22~ H25.3.31	●	
37	公益財団法人再春館「一本の木」財団	草原体験学習とススキを利用した紙すき体験		○	◎		○	H24.8.18	●	
38	阿蘇草原再生シール生産者の会	野草堆肥を利用した農産品の流通拡大にむけた活動				◎		H24.4~ H25.3	●	
39	草原再生オペレーター組合	採草による未利用草原の再生				◎		H24.8~ H25.3	●	
40	御食事処だいこんや	草原と結びつけたメニューの提供				◎		H24.5~ H25.3		●
41	阿蘇自然案内人協会	阿蘇エコツーリズムの推進			○		◎	H24.4.1~ H25.3.31	●	
42	阿蘇北外輪山トレッキング協議会	阿蘇各地に残る草の道を整備してトレッキング道として活用する活動			○		◎	H24.4~ H25.3	●	
43	NPO 法人 阿蘇ミュージアム	阿蘇人ツーリズムの実施			○		◎	H24.5.1~ H24.11.30	●	
44	長野良市	阿蘇における旅行の実施			○		◎	H24.4~ H25.3	●	



NO	実施主体 (提出者)	事業・活動名	関連小委員会					実施時期	提出様式	
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源	草原観 光利用		詳細 版	簡易 版
45	一般財団法人自然公園財団阿蘇支部	“草泊まり”を活用した草原再生の普及啓発			○		◎	H24.10～ H25.3	●	

※奨励賞を受賞した活動

◎当該活動計画の検討を主に受け持つ ○必要に応じて検討・協議を行う ★阿蘇草原キッズプロジェクト

◇平成 25 年度 実施中の活動計画(詳細版)一覧

NO	実施主体(提出者)	事業・活動名	関連小委員会					実施時期
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源	草原観 光利用	
1	(有)熊本植物研究所	ワグド池湿地再生の取り組み	○	◎				H20.4.1～(未定)
2	草原環境学習小委員会	阿蘇の草原キッズプロジェクト～阿蘇の草原環境学習を通して将来の担い手を育てよう～			◎			H21.4～H26.3 末
3	小森原野組合	荒廃原野の再生及び牧道脇の景観整備事業	◎				○	H23.2～H27.2
4	小森原野組合(西原村)	荒廃原野の再生事業	◎	○				H24.2～H27.2 ※各年 2 月～3 月(野焼き前)
5	NPO 法人 九州バイオマスフォーラム	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト			◎★	○		H24.4～H26.3(2ヶ年)
6	木落牧野組合	原野の恵み、先人の知恵を木落原野の未来へ(H25 年度)	◎	○	○	○		H25.4～H26.3
7	西湯浦牧野組合(中無田、中組地区)	野焼き放棄地の野焼き再開による草原再生	◎	○	○			H25.3～H26.7
8	長野牧野組合	野焼きによる管理体制づくり	◎	○				H25.4～H26.4
9	瀬田立野牧野農業協同組合	牧柵点検、輪地切り、野焼き	◎	○				H25.4.9.H26.3
10	(公財)阿蘇グリーンストック	輪地切り支援ボランティア活動	◎	○				H25.7 中旬～ H25.12 月上旬
11	(公財)阿蘇グリーンストック	野焼き及び輪地切り支援ボランティア活動	◎	○				H26.1 中旬～ H26.4 中旬
12	環境省 九州地方環境事務所	牧野組合毎の牧野カルテ作成支援	◎	○				H25.5～H26.3
13	環境省 九州地方環境事務所	野焼き作業の省力化及び野草地利用を支援する作業道、防火帯等整備事業	◎	○		○		H25.5～H26.3.31
14	阿蘇地域農業振興協議会畜産部会(阿蘇地域振興局農林部農業普及・振興課)	あか牛の流通・消費拡大の取り組み阿蘇あか牛肉料理認定店制度	◎					H25.4.1～H26.3.31
15	特定非営利活動法人 阿蘇花野協会	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人工林伐採による生物多様性豊かな草原の再生～	○	◎				H25.4.1～H26.3.31
16	宇野公子(花咲盛野草園)	花咲盛における生物多様性保全活動(H25 年度)		◎	○			H25.4.1～H26.3.31
17	(財)阿蘇火山博物館	阿蘇の火山体験学習			◎		○	H25.4.1～H25.11.30
18	国立阿蘇青少年交流の家	ティーチャーズ・ワークショップの開催(草原環境学習指導者の育成)			◎★			阿蘇谷:H.25.8.8(木) 南郷谷:H.25.8.28(水)
19	一般社団法人アイ・オー・イー	阿蘇エコツアー(修学旅行)			◎		○	H25.4～H26.3
20	関西学院大学 Link ASO	牧野の草原管理のお手伝い・草原維持管理に関する政策提言	○		◎			H25.10 頃
21	熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科	草原環境学習及び草原維持活動	○	○	◎			H25.4～H26.3

NO	実施主体(提出者)	事業・活動名	関連小委員会					実施時期
			牧野管理	生物多様性	草原環境学習	野草資源	草原観光利用	
22	九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所、阿蘇草原再生協議会 草原環境学習小委員会	草原環境学習の基本プログラムの検討			◎★			H25.4～H26.3
23	環境省 九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所	出前講座:阿蘇の草原を未来へつなごう			◎★			H25.4～H26.3 (学校の要望に対応)
24	九州地方環境事務所 国立公園・保全整備課	阿蘇草原再生に関する情報発信資料の作成			◎★			H25.7～H26.3
25	阿蘇草原再生シール生産者の会	野草堆肥を利用した農産品の流通拡大にむけた活動	○			◎		H25.4～H26.3
26	草原再生オペレーター組合	採草による未利用草原の再生	○			◎		H25.4～H27.3
27	阿蘇北外輪山トレッキング協議会	阿蘇北外輪山及び中央火口丘における草の道再生と活用			○		◎	H25.4.1～H26.3.31
28	特定非営利活動法人 阿蘇ミュージアム	阿蘇人ツーリズムの実施			○		◎	H25.4.1～H25.11.30
29	阿蘇ガイド養成講座実行委員会	阿蘇ガイド養成講座			○		◎	H25.4.1～H26.3.31
30	長野良市(阿蘇トラベルデスク)	阿蘇の草原スタディツアー			○		◎	毎月1本 (日帰りか宿泊を設定する)
31	古閑牧野組合(阿蘇市)	古閑牧野の維持管理と地域の交流会	◎					H25.4～H26.3
32	公益財団法人阿蘇グリーンストック	地域生物多様性保全事業(湿地の調査と保全実証事業)			◎			H25.6.19～H26.3.25
33	NPO法人押戸石の丘	押戸石の丘周辺原野の環境保全			○		◎	通年

◇平成 25 年度 実施中の活動計画(簡易版)一覧

担当する小委員会	NO	実施主体(提出者)	活動概要	実施時期
牧野管理	1	前川牧野組合	3月 野焼き正組員 3名・準組員 42名 4月 鉄条網の修理 3名 9月 輪地切り、輪地焼き 45名 ＜その他＞牧野内の放牧地 30ha に、あか牛 4頭を受入れ予定	H25.4～H25.12
	2	扇牧野組合	野焼き等による牧野維持管理を組員やボランティアの方と行う	H25.3～H25.10
	3	村山牧野組合	南阿蘇畜協及び高千穂地域畜産関係者の斡旋により、放牧牛を受入れ ＜その他＞牧野内の放牧地 50ha にあか牛 30頭、黒牛 20頭を受入れ予定	H 25.5～H 25.12
牧野管理・草原環境学習	4	波居原牧野組合	町、共済組合、家畜保健所、JA、生産者、家畜の安全祈願を兼ねて親睦会 ＜その他＞牧野内 150ha にあか牛 50頭を放牧(組員 5名)	H 25.7 末

※活動計画の提出様式には、「活動計画(詳細版)」(平成 22 年度以前の活動計画様式)と「活動計画(簡易版)」があります。簡易版については、活動結果報告の提出は求められません。
また、活動結果の提出様式にも詳細版と簡易版があり、簡易版は表彰・奨励賞の対象となりません。
本レポート内では、簡易版の活動結果報告についても紹介しています。

★TOPIC★草原再生に向けた熊本県の取り組み

熊本県では、平成 24 年 5 月に「かばしまイニシアティブ」を発表し、百年の礎を築くため、草原再生の取り組みそのものを支援していくことを表明しました。

また、平成 25 年 7 月に策定された「阿蘇草原再生ビジョン」では、阿蘇地域の持続的な成長を実現していくための取組の方向性と、草原再生に弾みを付けていくための重点化する取組等が提示されました。

阿蘇草原再生「かばしまイニシアティブ」H24.5.31

従来: 畜産・観光、環境行政を通じ結果的に草原再生に寄与
今後: 百年の礎を築くため、草原再生の取り組みそのものを支援

- 野焼きの安全対策強化
- 阿蘇デザインセンターに「草原の維持・再生」を新たなミッションとして追加
- 民間からの募金・協力金、企業の CSR 活動を積極的に促進

Column1「阿蘇草原再生全体構想」の見直し実施中！

●「阿蘇草原再生全体構想」とは●

阿蘇草原再生協議会では、阿蘇草原再生に向けて取り組む多くの主体が共通の認識を持ち、連携していくために、平成19年3月に「阿蘇草原再生全体構想」を策定しました。

「阿蘇草原再生全体構想」には、協議会構成員それぞれが、阿蘇草原再生に向けて取り組んでいこうとしている事業や活動の内容が示されています。

「草原再生レポート」では、協議会構成員それぞれが、この「阿蘇草原再生全体構想」を踏まえて阿蘇草原再生に向けた「活動計画案」を作成し、協議会の場で協議しながら事業・活動を進めた結果をとりまとめています。

●「全体構想策定後5年間のふりかえり」をもとに●

平成24年度、「全体構想」の策定から5年が経過し、草原再生をとりまく状況が変化していることも踏まえ、更に草原再生の取り組みを広げていくため「全体構想策定後5年間のふりかえり」が実施されました。

「5年間のふりかえり」は「全体構想」に基づく草原再生の取り組みを中心に実施され、平成25年3月の第16回協議会で承認されました。また、「全体構想」の見直し（改訂）を進めていくことについても承認が得られ、平成25年度に全体構想の見直しを実施していくこととなりました。

●草原の維持管理の危機●

平成25年3月現在、阿蘇草原再生協議会では200を超える構成員により様々な草原再生活動が進められています。また、平成22年11月に始まった阿蘇草原再生募金による支援も実施され、ボランティア派遣やあか牛導入支援など、草原の維持管理・再生をサポートする事業が行われています。

一方で、平成23年に実施された県の調査では、160の牧野組合のうち約56%が10年後には野焼きができなくなると答えています。

阿蘇草原再生のこれからの取り組みについて、協議会構成員が一丸となりアイデアを出し合い、「全体構想」の改訂版に反映させていくことが求められています。

●「全体構想」の見直しを進めています●

「全体構想」の見直し実施にあたり、平成25年7月に作業部会が設置され、既に第1回作業部会（7月19日）が開催されました。また、各小委員会での意見聴取や構成員に対するアンケートの実施結果なども踏まえて見直しを進めていきます。

ぜひ、見直しを踏まえて「全体構想」（平成19年3月版）に目を通して見て下さい。

▼「全体構想」の掲載項目

《全体構想(H19.3版)の掲載項目》

- 阿蘇草原財政の背景と経緯
- 阿蘇草原再生の対象範囲
- 阿蘇草原再生の目標
- 取り組みの進め方
- 取り組みの内容
- 協議会構成員による役割分担



▲「全体構想」冊子（左は概要版）



▲草原の放牧風景



▲第1回作業部会の様子